

本年も課題の一步前進に 向けて創意工夫を

新年あけまして

おめでとございませう。

皆さまにおかれましては、よい新年を迎えられたことお喜び申し上げます。

国有林野事業では、平成25年4月の一般会計化等を踏まえ、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献等に取り組んでいます。

あらためて昨年を振り返れば、関係機関の皆さまには、シカ害等対策を含めた技術開発、民有林との連携、森林総合監理士等の育成、また、森林体験活動や森林環境教育、緑の募金など幅広くご協力頂きありがとうございました。

進むべき

方向に沿って

今年も局署等には様々な課題がありますが、国有林野事業の進むべき方向性については既に示されています。

それらの方向に沿って局署等が連携して、創意工夫を凝らしながら日々取組を進めて参りたいと考えています。

ご支援・ご協力方よろしくお願ひ致します。
技術普及課長



「コウヨウザン最前線」

コウヨウザンを見つめる報告会に参加

12月18日(水)「農林水産業みらいプロジェクト助成事業成果報告会～コウヨウザン最前線～」(広島市)に技術普及課職員が参加しました。

1. 報告会では、
 - (1) コウヨウザンの苗木生産、モデル的植林の成果と今後の造林事業への提案
 - (2) 日本国内に植栽されているコウヨウザンの評価と選抜
 - (3) 台湾におけるコウヨウザンの現状と共同研究への期待
 - (4) コウヨウザンの萌芽更新について
2. 講演では、
物林株式会社 大貫 肇部長による「これからの林業とコウヨウザン」について。
以上を聴講しました。

特に、(4) コウヨウザンの萌芽更新では、「残されるヒコバエ本数は、根株あたり1～3本、また、ヒコバエの整理時期は、萌芽更新開始後、2～3年以内が望ましいとのこと。

四万十署管内の辛川山に設定しているコウヨウザン試験地は、平成30年2月に間伐、その後、旺盛な萌芽枝を確認。今回の報告会で得られた情報等を生かして、引き続き、コウヨウザンの「みらい」を見つめていきます。

「四国森林・林業研究発表会」

1月22日(水)に開催

令和元年度「四国森林・林業研究発表会」を、令和2年1月22日(水)、局大会議室において開催します。

発表課題は局署等から10課題、教育機関から2課題、試験研究機関等(特別発表)から3課題、合計15課題です。

発表者は、研究の成果の披露にあたっては、聴講者に分かり易い説明や資料等の工夫をお願いします。

また、聴講される方は、今後の業務に活かすために積極的な質問等をお願いしますとともに、時間の許す限り、すべての課題の聴講もお願いします。



編集後記

2020年が明けました。皆さまの初夢は、今年も体調に留意して日々の生活を。

子(ね)年も ご愛読よろしくお願ひします。

(技術普及課一同)